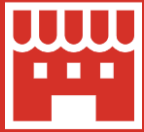


近畿大学生協（東大阪キャンパス） リ・リパック企画

第277号



[店舗]

取り組み概要

日時：6/26～7/21 昼休み
場所：21号館下コンビニPlum
カフェテリアNovember前
1号館下ピロティ
組合員の反応：1ヶ月トータルで約400個

概要：リ・リパックを返却してくれた人にポイントカードを配布し、ポイントを付与。5ポイントが貯まるごとに生協利用券をプレゼントするという企画。

ポイントカード、やってみました。

POINT.1

リ・リパックとは？ & 企画について



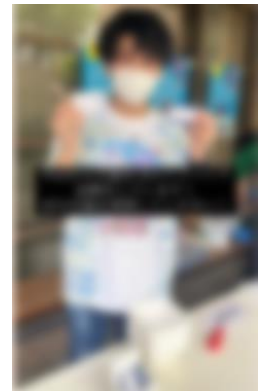
「リ・リパック」は、多くの生協店舗で取り入れられているお弁当容器で、回収することで再利用ができるようになっています。そのため、いわゆる「社会的課題」に目を向けた容器とも言えます。近畿大学生協GI社会班は「近大生にリ・リパックを知ってもらおう」ということを目的として、この企画を実施しました。

「ポイントカード」が本企画の最も特徴的な部分です。「認知度を上げる取り組みをしてからでもいいのでは？」という意見もありましたが、ポイントカードを通して認知度を上げよう、と考えたのです。

POINT.2

GIみんなが協力して実施

社会班を中心に、学内向けポスターやポイントカードを作成、準備しました。期間中は、生協弁当販売場所での呼びかけやカード配り、スタンプ押しを実施。それらに関しては他の班のメンバーやパートの方にも手伝ってもらいながら、約1か月行いました。また、最後の週はポイント倍増デーも実施するなど、様々な形で回収率UPに取り組みました。最終的な総回収個数は約400個。一日あたりの平均は20個ほどに留まったものの、GI全体で取り組むことができました。



POINT.3

班長による、振り返り

企画をメインで担当した、当時の社会班班長からのコメントです。様々な調整や経験を通じて、成長に繋がったのではないのでしょうか！

“企画決めや準備は社会班全員で決めて進めていきましたが、職員さんとの連携など上手くいっていない部分が多く、失敗してしまったりとたくさんたくさんありました。もっと改善できる部分もありますが、たくさん多くの学生の方に参加してもらい、もっと長い期間で欲しいという声をいただいたことは非常に嬉しかったです。是非とも後輩のみんなにはこの企画をより良いものにして復活してくれたら良いなと思っています。”

